

特別講義「障害者施設を訪ねて ―海外事情―」

社会福祉法人恩賜財団済生会支部
北海道済生会西小樽病院 みどりの里

機能訓練室係長・作業療法士 小玉 武志

社会福祉施設職員合宿研修会 04/09/2018 in 東京

障害者施設を訪ねて ～海外事情～

VISITING INSTITUTIONS WITH DISABILITIES ～ OVERSEAS CIRCUMSTANCES ～

小玉 武志
TAKESHI KODAMA

認定作業療法士／博士
Authorized O.T.R. / Ph.D.

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
北海道済生会西小樽病院 みどりの里

MY JOURNEY

本日のメニュー

- 1.訪問した国と施設
- 2.海外施設の特徴
- 3.福祉について考える



NEW YORK CITY

北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

Funded By The National Racing Welfare Foundation

❖ 研修の目的

世界の障害児・者の支援について学ぶ

▶ 重度な障害を持つ方に対する生活支援

日本では、在宅での家族支援以外、医療と福祉の一体型施設が多数存在している。児童から成人まで幅広い年齢、幅広い障害特性を受け入れ、生活介護から日中活動支援までの全てを行なっている現状がある。

世界では、重度な障害を持つ方は地域でどのように生活しているのか？

▶ 障害児の教育支援について

障害児教育において外部専門家の必要性が認められつつあるも、日本の特別支援教育の現場に作業療法士が勤務していることは稀である。世界では早期療育の有効性から「スクールセラピスト」という呼ばれる作業療法士ががいる。どんな役割を担うのか？



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

My Itinerary

- ❖ 4月23日～ 29日...Denmark : Bogense (合同研修) 
- ❖ 4月29日～5月3日...U.K. : Worcester 
- ❖ 5月 3日～ 13日...U.K. : London 
- ❖ 5月13日～ 20日...Germany : Berlin 
- ❖ 5月20日～ 25日...Denmark : Odense 
- ❖ 5月26日～ 29日...U.S.A. : New York 
- ❖ 5月29日～6月4日...Canada : Edmonton 
- ❖ 6月 4日～6月7日...Canada : Calgary 
- ❖ 6月 7日～6月9日...U.S.A. : Fremont 

研修先：5カ国 9都市 研修期間：49日間



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



STAY AT
BØGENSE_(NORDFYNS HØJSKOLE)



DENMARK

The Period : 24/Apr/2017 ~ 28/Apr/2017

The joint training



TAKESHI KODAMA

MY JOURNEY



The Institutions

1. BØRNEHUSENE AARUP (特別支援保育園)
2. SANSEKAKKEN (重度障害者住居施設)
3. SKRILLINGSKOLEN (特別支援学校)
4. FLEMLØSE PLEJEHJEM (認知症住居施設)
5. SUNDHEDSKLINIK (地域の外来クリニック)
6. SØBO (高齢者リハ施設)
7. SOCIALCENTER LILLBÆLT (脳障害者住居施設)



The Volunteer Group

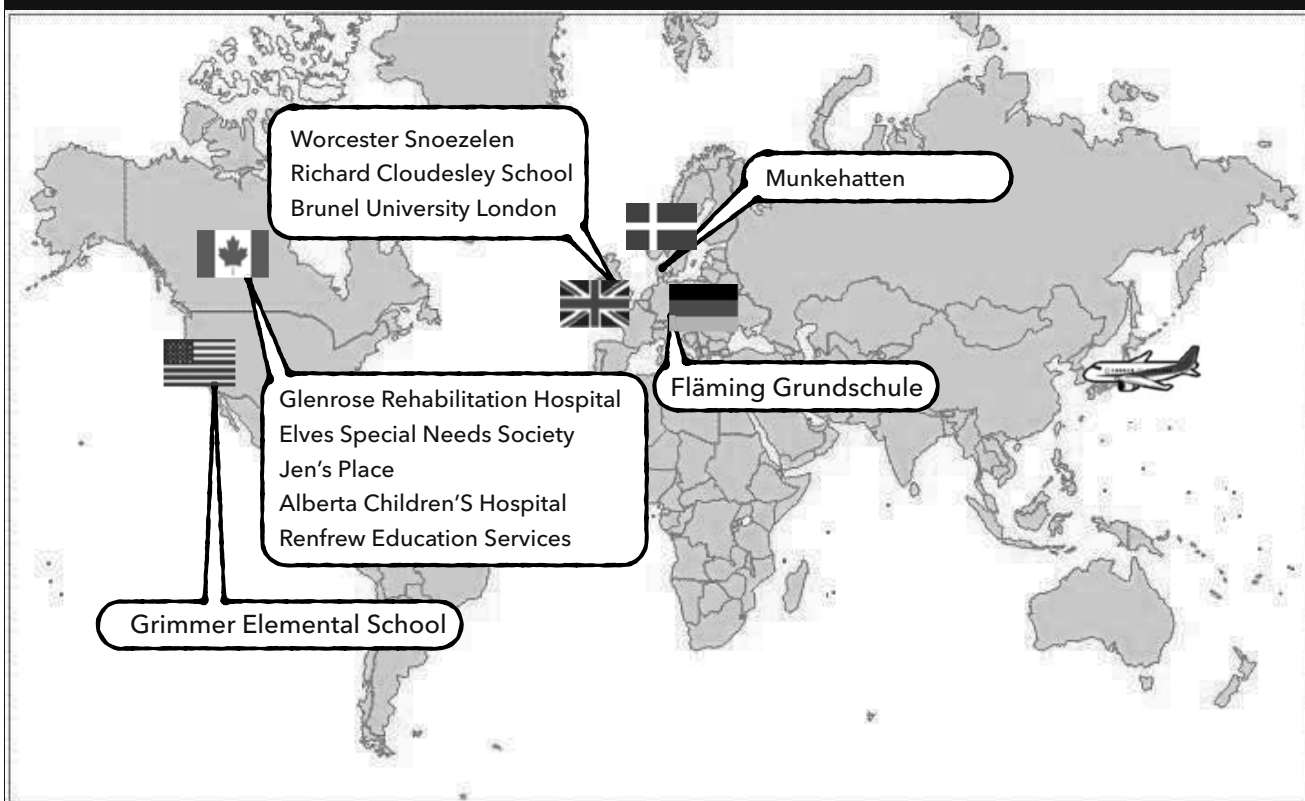
1. VÅGEHJÆLPEN (看取りの会)

The Lectures

1. MOMOYO T. JØRGENSEN
2. TADAO CHIBA



Personal training



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

テーマ別訪問施設



障害児の教育支援について

Richard Cloudesley School

Elves Special Needs Society 特別支援学校

Renfrew Education Services

Fläming Grundschule 統合教育

Grimmer Elemental School 特別支援学級

Brunel University London

重度な障害を持つ方に対する生活支援

Munkehatten

Jen's Place

重度障害者施設

Worcester Snoezelen

Glenrose Rehabilitation Hospital 福祉施設と小児医療機関

Alberta Children's Hospital

北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

本日のメニュー

1.訪問した国と施設

2.海外施設の特徴

3.福祉について考える



NEW YORK CITY



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



障害者の 生活空間

The life of
people with disabilities



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



施設の概要

- ▶ 重度の成人障害者の住居施設
- ▶ 45名が生活している
- ▶ 5つのユニット(8, 9×3, 10)単位で生活している
- ▶ 全室個室で、リビング、寝室、バスルームが備わっている
- ▶ 重度の障害児・者の入所施設
- ▶ 14～400名の入所定員
(民間：平均60床程度、国立平均100床程度)
- ▶ 病棟単位での生活
- ▶ 多くの居室が複数人部屋になっており、デイルーム、バスルームは共用

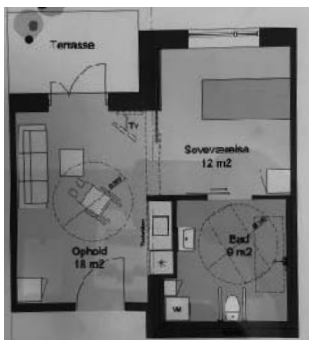


北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



Munkehatten

～施設の特徴～



Activity Centerが
併設されている



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



障害者の 自由

The liberty of
people with disabilities



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



自由と権利

- ▶ 個人のものを買う自由
自室には、それぞれの所有物がある。
例) ラジカセ、食器、絵画、ソーダマシン、タバコ、DVDプレーヤー など
- ▶ サービスの選択の自由
個人でボランティアを雇うことができる (マラソンクラブ)
個人のお金でサービスを契約することもできる
例) 整体師を呼ぶ、外出支援を受けて買い物に行く、ツアーに行く など
- ▶ 個人のものを買うのは制限
自室の限られた空間に置けるものには制限がある
- ▶ 他のサービスを受けるのは困難
施設の入所者が個人で外部との契約をしたり、外出支援を利用することは困難



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



自由と権利

- ▶ 活動の自由
外部の活動支援を受けることもできるし、活動を断ることもできる。
職員も住民の意思を尊重する
- ▶ 活動の選択
決められた個別支援プランに沿った活動を行われる
時に業務上の理由で困難なことも
- ▶ 生活の選択
施設に入所しなくても、障害があっても成人したら一人暮らしを始めるのが基本
- ▶ 家族との関わり
日本は施設に入所しない場合は、家族と暮らすことが一般的
社会に生活を支える枠組みが不足
- ▶ 障害年金
基礎年金よりも高い金額が支給
- ▶ 障害年金
生活をするのは困難な金額



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



障害者の 日中活動

The activity of
people with disabilities



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



日中活動

- ▶ Activity Centreが併設される
- ▶ 病棟内での療育活動が提供される
- ▶ 4つのTeamによって活動が提供される
- ▶ 他の専門職による活動が提供される
- ほか、専門職種による関わり（Open Trainingなど）も企画される



- ▶ オープントレーニングでは、決まった方の参加に加え、自由参加も可能（セミオープン形式）
- ▶ 職員の人数は2～3人に対して、6～8名前後の活動を支援する



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



Munkehatten ～Activity Centerの特徴～

- ▶ それぞれの活動は職員2名で、6名の住民を介助する



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



障害者施設で働く人々

The employees who work in the institution



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



職員体制

▶ 職員数は100名前後（45名に対して）
（ペタゴー，社会保険介護士，介護助士，
医療介護士，OT・PT各2名）
医師や看護師はいない

▶ 夜勤は夜勤のみの勤務
早番（7:00～15:00）
遅番（14:30～22:30）
夜勤（22:00～7:00）



▶ 外部の研修に参加を奨励する

▶ 職員数は160名前後（事務を含む）
（利用者120名に対し病棟111名）
（医師，看護師，保育士，介護福祉士，
OT・PT・ST）

▶ 早番～夜勤まで様々な勤務時間に対応
早番（7:00～16:00）
日勤（8:30～17:30）
遅番（10:30～19:30）
準夜勤（16:30～1:30）
夜勤（1:00～9:00）

▶ 職員研修は院内で行う

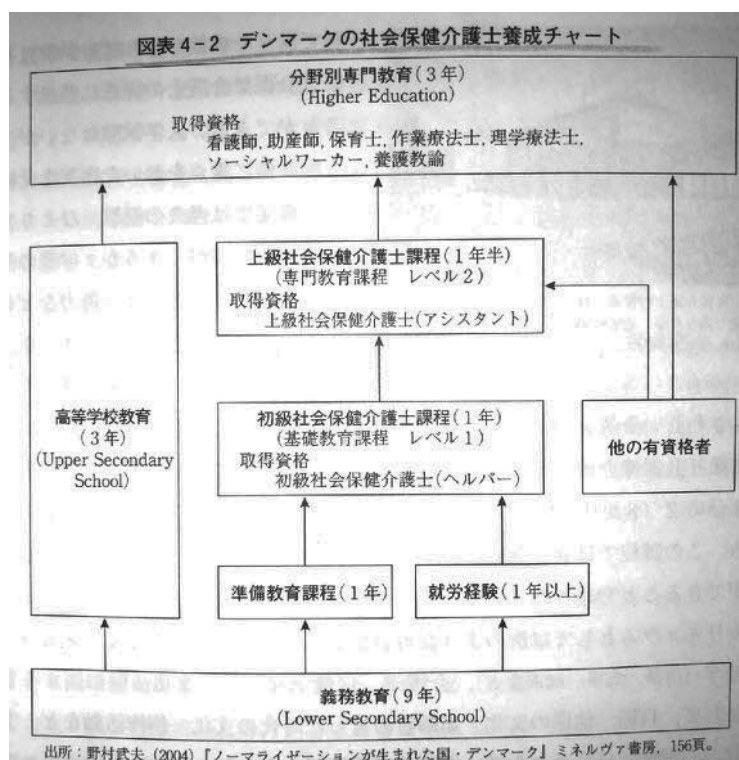
北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

職員のキャリアアップ

- ▶ 医療や神経学的な専門知識を学んだ介護職の役割の増加
- ▶ 専門的知識を学んでも職域を超えることはない
- ▶ それぞれの専門性を高めるための研修制度
- ▶ 専門性を高めるための枠組みがない
- ▶ 施設の管理者は介護士、看護師、作業療法士など、スキルを持っている人
- ▶ 施設管理者は主に医師であり、地域のサービスのみ他職種が担うことがある
- ▶ 教育によってキャリアアップされていくシステム
- ▶ キャリアアップしても上位職の枠組みがない

北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

養成システム



▶ 初級カリキュラム

理論 (3割) : 栄養学, 介護学, 保健学, 家政学, 心理学, 社会保険衛生, 基礎看護, 予防

実習 (7割)

▶ 上級カリキュラム

より医学的な理論と実践

微生物学, 伝染病, 生理学, 教育学, 解剖学, 保健衛生など

北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



職員の人権

- ▶ 労働組合が強い
- ▶ 労働組合は周知されていない
- ▶ 労働者に対する人権が守られている
「その個人が楽しく暮らすことが、
仕事を楽しく頑張る活力になる」
- ▶ 労働と個人の健康は分けられることが多い
- ▶ 職員の精神衛生に注意している
- ▶ 燃え尽き症候群という言葉すらある



 北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



マニュアルは必要か？

- ▶ マニュアルの必要性（メリット）
- ▶ マニュアルの問題点（デメリット）
- ▶ 経験に左右されない業務指導
- ▶ 責任の所在の不明確さ
- ▶ 業務の標準化・効率化
- ▶ 思考の短絡化
- ▶ 行動の一貫性
- ▶ 専門性の欠如

- ▶ すべての責任のもと行動
- ▶ 問題解決に向けて個人の最善を尽くす



- ▶ 責任逃れの日本人
- ▶ 個よりも和

 北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



マニュアルは必要か？



- ▶ チーム医療として専門性を発揮
- ▶ ヒエラルキーが根強い
- ▶ 個々の役割が明確かつ尊重
- ▶ それぞれの役割が不明瞭



施設に鍵は必要か？

- ▶ 個人の自由を尊重する国
- ▶ リスク管理をしたがる国

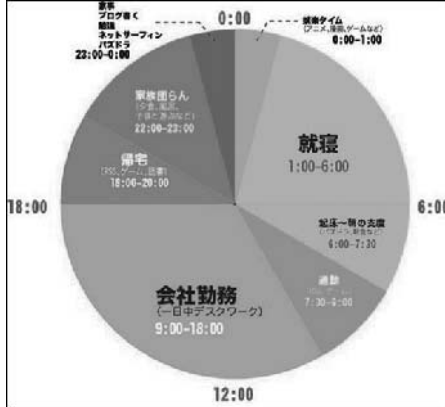
- ・ そもそも「鍵」は何のためにかけるのでしょうか？





基本は「普通」の生活

▶ 通常の生活



- ▶ 日中は「会社勤務」である
- ▶ 施設は「生活の場＝自宅」
- ▶ 一般的に、社会人は日中自宅にいない
- ▶ 障害者施設でも、日中「活動（仕事）」に出かけるのが普通である。

・ 日本はどうでしょう？



自主性を重んじる



▶ 仕事をする自由

- ▶ 勤務は自分で組み立てる
- ▶ 枠（必要人員）だけが示される
- ▶ 誰もいなくならないように調整
- ▶ イベント時には相談する

▶ 仕事＝勤労という義務

- ▶ 上司が勤務表を立てる
- ▶ 必要最低人員を下回らないように
- ▶ 急な休みなどの調整が大変
- ▶ 行事には多くの人員配置

・ 自由＝自己責任

・ 義務 & 権利



異常に高い入院費用

- ▶ 州によって異なりますが . . .
- ▶ 都市によって異なりますが . . .
- ▶ 1泊10万～20万の入院費（無料）
- ▶ 費用は期間中合算で30万～40万
- ▶ 24時間以降は退院可能（州次第）
- ▶ 初産であれば6日間、第2子以降は5日間の入院が必須



・ そもそも、出産は病気ですか？



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

MY JOURNEY

本日のメニュー

1.訪問した国と施設

2.海外施設の特徴

3.福祉について考える



NEW YORK CITY

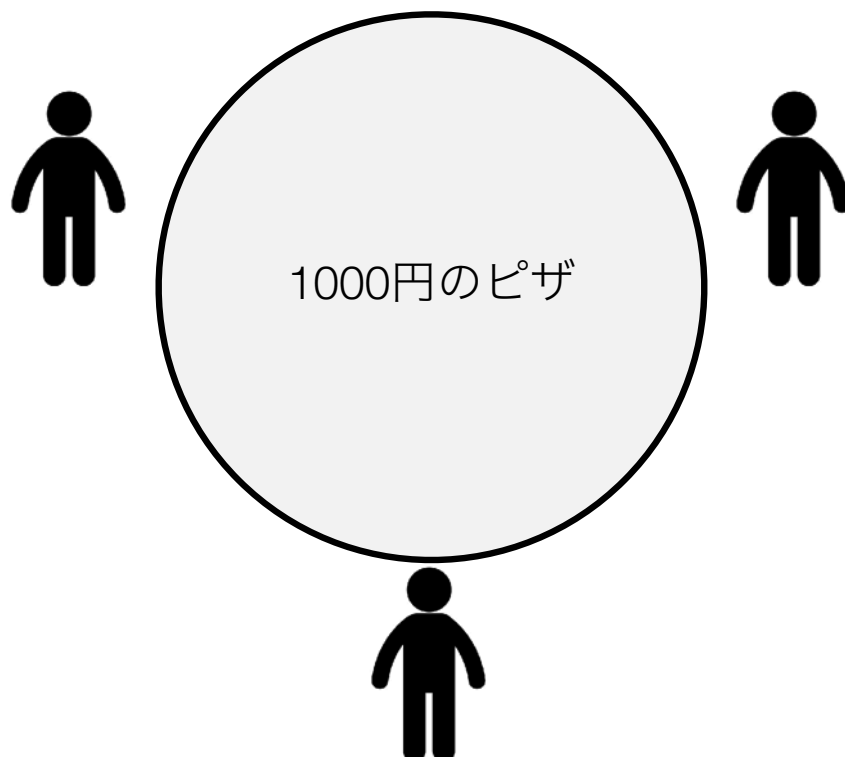


北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

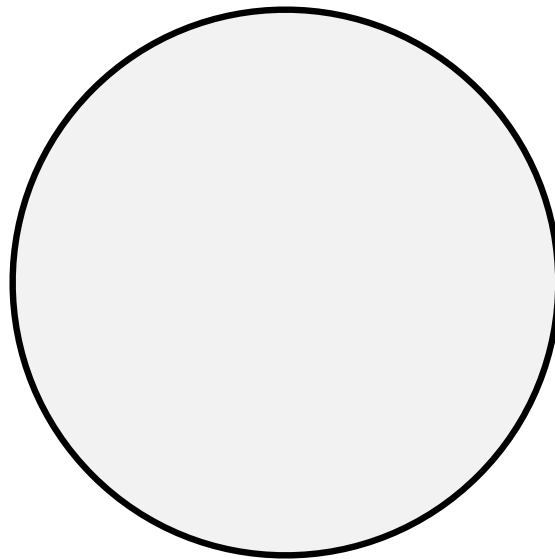
【福祉ってなあに？】

- ・ 皆さんが考える「福祉」とはなんでしょう？

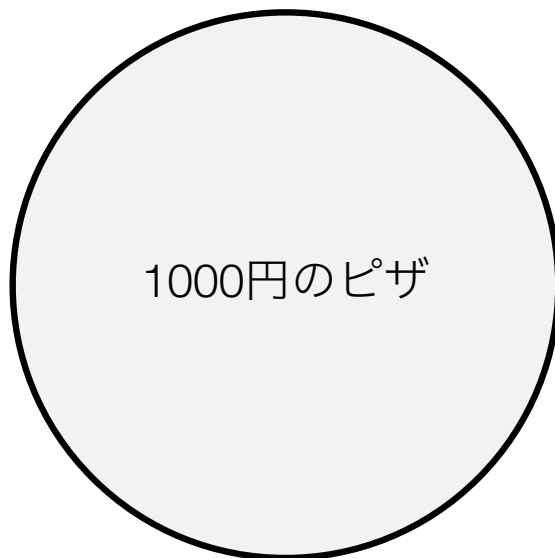
3人に3等分してみましよう



それではこの場合は??

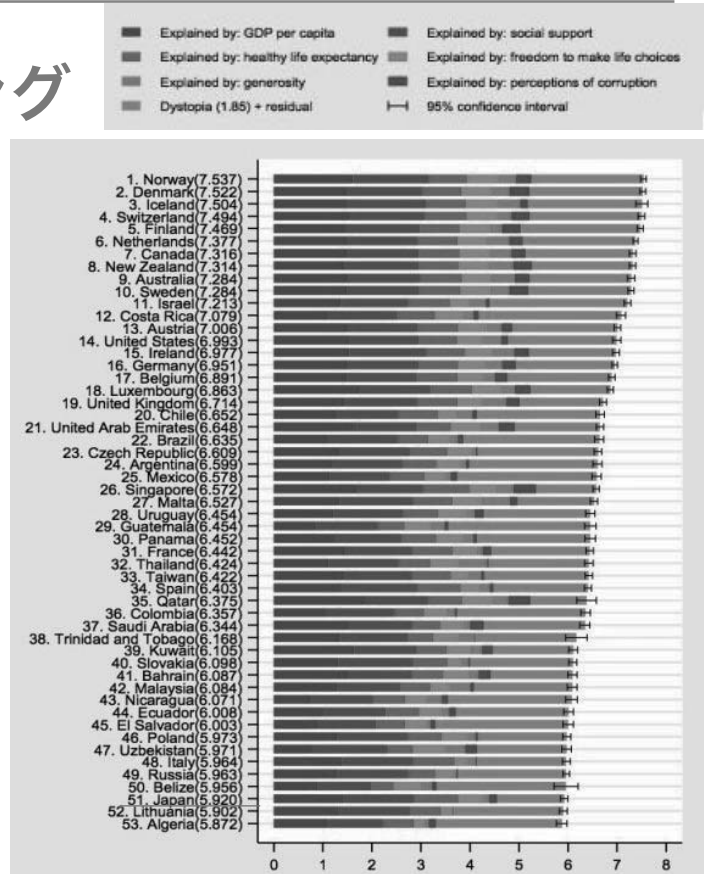


それぞれの人はいくら払うのが妥当ですか？



世界幸福度ランキング

- ▶ 人口当たりのGDP
- ▶ 社会的支援
- ▶ 健康な寿命
- ▶ 人生を選択する自由
- ▶ 性の平等性
- ▶ 社会の腐敗度



世界幸福度ランキング



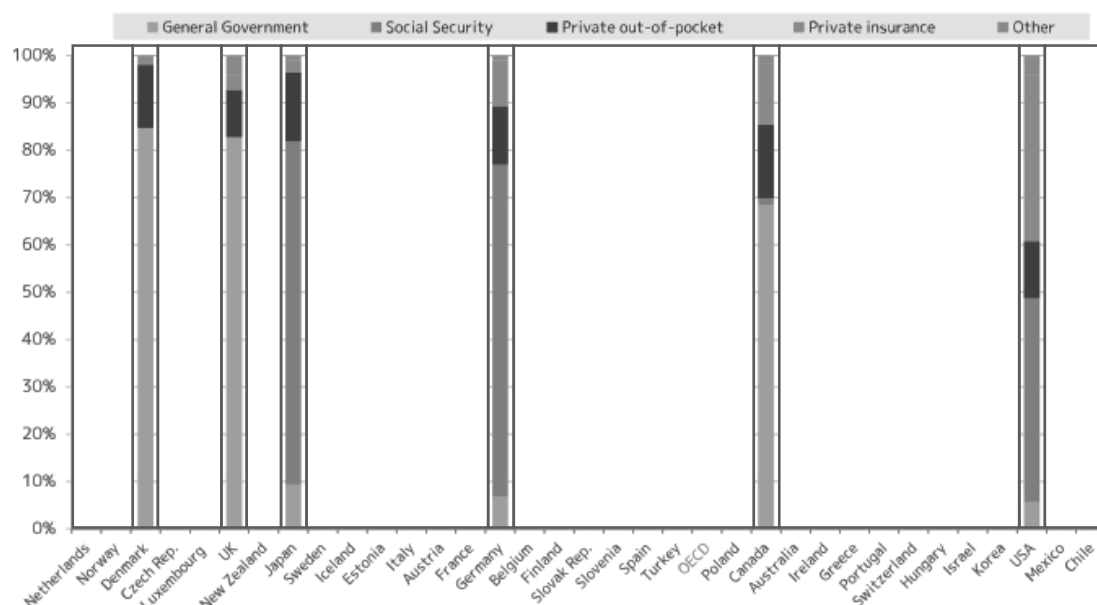
- ▶ 人口当たりのGDP
- ▶ 社会的支援
- ▶ 健康な寿命
- ▶ 人生を選択する自由
- ▶ 性の平等性
- ▶ 社会の腐敗度

これらはあくまでも変数

結果は全てアンケートによるもの

各国の財源別保健支出

Expenditure on health by type of financing,
2011 (or nearest year), OECD Health at a glance 2013



幸福大国デンマーク

▶ 幸福の定義とは・・・??

- ・ みなさんが考える「幸福」を挙げてください

幸福大国デンマーク

- ▶ 幸福の定義とは・・・??

幸福 = _____



幸福 = _____ = _____

幸福大国 = 社会福祉大国

- ▶ 福祉・・・これまでは健康な人が決めていた
- ▶ 当事者中心でなければいけない

生活支援法 → 社会サービス法

- ▶ 障害にかかわらず、同じ暮らしを実現するもの

Normalization = Humanization



高齢者福祉の三原則

▶ 継続性の原則

住みなれた土地で、今までの生活を自分らしく継続するための支援

▶ 自己決定の原則

自分の生活の仕方は自分が決める。

▶ 自己資源の開発の原則

これまでに獲得した技術、技能、趣味を活かして、日常生活を楽しく豊かに過ごすための資源として捉え、支援する。

在宅生活を支えるサービス

▶ ホームヘルプサービス

要介護者の自立を援助する。24時間いつでも対応

▶ 補助器具

必要な機器（電動ベッド、車椅子、補聴器、メガネなど）無料で使用

▶ 「施設」という概念の撤廃

共同で生活する場所を施設ではなく、住宅するということで、個人が自己決定に基づく、主体的で自由な生活を営なむことができるように。



障害者福祉の三原則

▶ 補充性の原則

障害そのものは医学的な概念であり、その障害にもたらされる不利な結果に対して、多くのサービスや援助をつなぐことで相殺したり、社会参加の不利を防止する。

▶ 部門責任の原則

あらゆる公共機関、組織、企業がサービスを保証する。自分の生活の仕方は自分が決める。

▶ 機会均等の原則

社会のすべての部門は、障害者が他の人々と同じようにアクセスしやすくなる責任を追うこと、社会は、彼らが援助を得て平等な状態を確保できるように責任を負う

障害者の権利

▶ 18歳を過ぎたら親元を離れる

障害があっても一人暮らしが保証される

▶ 「障害者手帳」はない

障害の登録制度はないが、一人一人にケースワーカーが割り当てられる

▶ 生活の権利

結婚、出産も可能。在宅生活を希望すれば改修も行う。就労も行える

社会福祉を支える制度

▶ どのようにこれらのサービスが提供されるのか・・・??

国民全てが満足する



社会福祉の基本は民主主義

民主主義って何ですか？

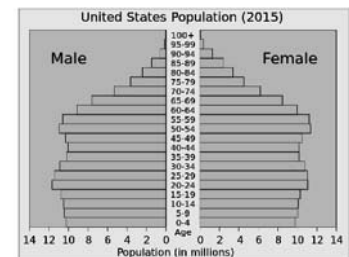
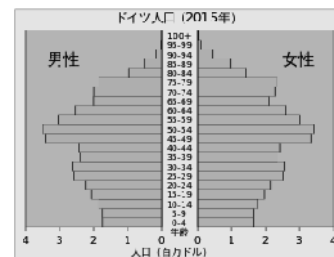
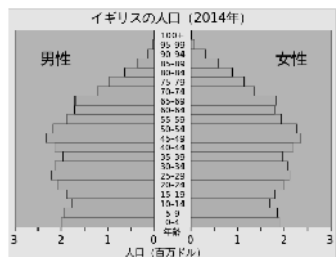
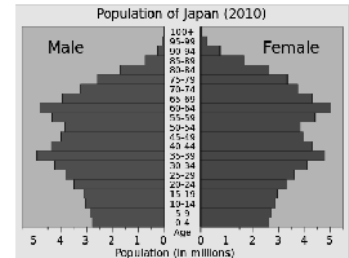
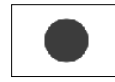
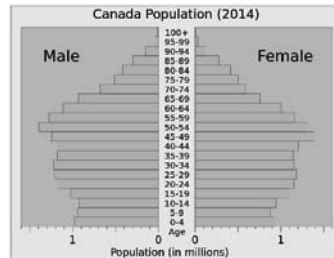
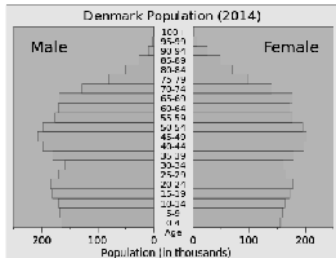
▶ 民主主義を構成する3つの要素

_____ ・ _____ ・ _____



これらを根付かせる教育

福祉を支える人々

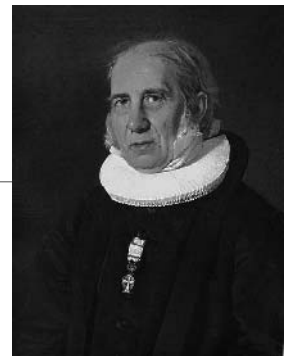


グントヴィの教育思想

- ▶ 自己の使命や「生の自覚」と促す教育
＝「生の教育」

- ▶ 無意味な暗記試験，理念なき実学教育，立身出世を煽る競争社会
＝「死の学校」

たとえ天使の指先や星のペンで書かれたところで，あらゆる文字は死んでいる．あらゆる本の知識も死んでいる．対話による「生きた言葉」の中でこそ真の学びが得られる



国民高等学校（フォルケホイスコーレ）

- ▶ 1844年～
- ▶ 学問とは、試験のためや資格のためではなく、自己形成のためにするものである

- ① 入学は18歳以上
- ② 全寮制である
- ③ 校長と教員の1人は学校敷地内に居住する
- ④ 試験をしてはいけない
- ⑤ 資格を与えてはいけない



糸賀一雄との共通点



- ▶ 「多くの場合、教育とは伝達であり、文化の伝達である。しかし、文化の伝達であるというなら、文化を受け止めていくところの主体性が確立する必要がある。ただ容れ物に詰め込むことが伝達ではない。教育とは相互作用である。人と人とが人格的なふれあいを通して、火花が散って、新しいものが創造されていくことこそ教育である。」
- ▶ 全人格的な関わりの必要性

本日のメニュー

1.訪問した国と施設

2.海外施設の特徴

3.福祉について考える

4.おまけ



NEW YORK CITY



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

「Hyggeな暮らし」

・ デンマーク式の時間の過ごし方

- ① 家族や友人との時間を大切にする
- ② 時間の流れを意識する
- ③ 無理をしない 見栄をはらない
- ④ 自然を身近に感じる
- ⑤ 物を大切にする
- ⑥ 心地いい空間作りを心掛ける
- ⑦ ミニマムに暮らす
- ⑧ 手作りのぬくもりを感じる
- ⑨ 仕事に縛られない
- ⑩ 今あるものに感謝する



<https://kinarino.jp/cat6-ライフスタイル/30284-デンマークの「ヒュッゲ」から学ぶハッピーライフ～幸せへのヒント10>



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志



RNE



Conclusion

医療と福祉

～医療と福祉は別である～

- ▶ 医療は病気を治すため
- ▶ 医療に依存している
- ▶ 自助・互助が当たり前の社会
- ▶ 生活を支えてもらうのが当たり前

福祉において基本的なこと

- ▶ 障害者の人権（自由な選択）が確約されている
- ▶ 障害は“病気”ではない
- ▶ その人が尊厳を持って生きることが大事

人生は「太陽を浴びて、海に行き、人と話し、笑い、怒り、食事をし、自己決定できる」ことが大事（*Quality of Life*）



北海道済生会西小樽病院 みどりの里
作業療法士 小玉 武志

